兵庫支部 NEWS H22年 1月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(℡078-792-6130)
ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座:00980－2－245822
口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

本年も兵庫支部活動によろしくご支援の程お願い申し上げます

平成２２年元旦　　兵庫支部長大村実良及び兵庫支部役員一同

（神戸、諏訪山公園ヴィーナスブリッジから）

年頭雑感

生き生きとした活気のある兵庫支部を!!

兵庫支部副支部長　山田紘昭(44商)

皆様、新年明けましておめでとうございます。

本年も何卒よろしくご厚誼の程お願い致します。

昨年は、民主党の本格政権の誕生等、チェンジがキーワードとなりました。

コンクリートから人へ、人の命を大切にする温かい世の中、弱者への配慮など今後の政権運営に期待するところです。

兵庫支部では、昨年７月の支部総会を役員一同の努力でかってない盛り上がりをみせて成功裡に終わらせることが出来ました。

今年はこの経験を生かして組織の充実を図り、参加会員を増やす等の取り組みを、皆が知恵を出し合って考えて、生き生きとした活気のある兵庫支部にする必要があると思います。

兵庫支部には、「歩こう会」、「囲碁の会」等があり、永く続いている素晴らしい同好会だと思いますし会員同志の繋がりは強いものがあると思います。このような支部の特性を生かしながら、同じ兵庫に在住している「縁」を大切にして、同窓会の原点である皆が楽しく、明るく元気な会にしたいものだと思っています。

年頭雑感

共通の趣味で輪を広げよう!!

北九州市立大学同窓会兵庫支部会員の皆様、新年おめでとうございます。すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今、世の中いろいろな事が政権交代により改革を余儀なくされております。↗

しかしながら、楽しい事も考えなければ立ち行きません。

昨年は兵庫支部では、三金ゴルフの台湾大会をはじめ、「歩こう会」では平成１３年３月以来、１００回記念として「讃岐うどん」日帰りバスツアーを１２月２０日に実施しました。

バスの中では、草創期以来地道に活動貢献されている名越顧問、安徳副支部長兼幹事長が、その御努力を称えられ表彰されました。またゲストとして数多く参加されている謝さん、角田さんの御二人にも感謝状が渡されました。

現在ゴルフ、囲碁と多彩な同好会があり益々会員の方々の趣味を披露され同窓生との交歓に活用して欲しいと思います。共通の趣味が輪を広げ継続に繋がります。同窓会拡充の為にも色々な会が作られることを、切望しています。

A HAPPY NEW YEAR !

ｲﾝﾄﾞ・ﾒﾀﾞｶ小学校の生徒と教師より

新年明けましておめでとうございます。お元気で良き新年をお迎えのことと思います。今年もどうぞよろしくお願いします。

「歩こう会」100回記念

讃岐うどんバスツアー

(「歩こう会100回記念」讃岐うどんバスツアー、大鳴門橋を背に記念撮影

「歩こう会」が藤田博保氏(35商)の提唱により発足し第１回が平成１３年３月１１日に実施されて以来、めでたく１００回記念を迎えることとなり、記念行事として、讃岐うどんバスツアーが１２月２０日(日)実施された。

(前原氏とバス)

初代会長（現顧問）の藤田氏、現会長の二宮氏など同窓生及びその家族が１２名、これまでも度々ゲスト参加されていた謝さんや二宮会長の同僚やそ家族・友人など１７名の合計２９名が前原賢作氏（40商）の運転する２９人乗りマイクロバス（レンタル）に乗車し、三宮を９時過ぎに出発。明石海峡大橋を渡り、高松道を経由して、先ず四国八十八か所めぐりの一番札所の霊山寺を訪問した。

(お遍路さんと)

霊山寺（りょうぜんじ）は一番札所だからか、お遍路装束一式が取り揃えられる用品店がある。お店の内外にはお遍路装束を纏ったお人形さんが立っており、仲々の美形でツーショットを試みた。

霊山寺で３０分ばかり過ごして、再び板野ＩＣから高松道に乗り、本日の主目的である「うどん屋」さんへと向かう

(讃岐うどん店「わら家」)

それは屋島ドライブウェイの入り口辺りにある四国村入口にある「わら家」という讃岐うどん店である。到着したのが丁度お昼時だったので、沢山の人で込み合っていた。東祖谷山村から江戸時代末期のわら葺の農家を移築した風情ある建物で、傍らには水車小屋もあり、どこか懐かしい風景である。

(水車小屋もあった)

店内は３００席以上もあり結構広い。食券購入のため暫く並ばなくてはならなかったが、先着した人達が席を確保してくれていたので直ぐに着席できた。

(食券購入で並んだ人達)

讃岐うどんと言えばやはり釜揚げうどんだろう。

１人前の普通サイズのものが４１０円、「中ジャンボ」と称する２人前位のものが６８０円、「特大」は３人前位入っているのか、大きな寿司桶の様な容器で９００円だ。もっと大きなタライに入った「家族うどん」は１０人前位で２３００円である。

筆者は普通サイズで、日本酒を１本つけたが、皆さんの多くは「中ジャンボ」「特大」を楽しまれたようだ。それでは讃岐うどんお楽しみ中の皆さんです。

お土産に讃岐うどんを買い求め、栗林公園観光へと向かった。栗林公園は１６世紀後半に築造が始まったもので、紫雲山を借景として、６つの池と１３の丘があり、南庭は江戸時代初期の大名庭園である。紫雲山で思い出したのは宇高連絡船の紫雲丸の大事故を思い出した。後で調べると昭和３０年５月修学旅行中の小学生など１６８名の犠牲者が出た沈没事故であった。

(紫雲山を背景に池と丘)

４０分少々で園内を駆け足で廻って１６時半過ぎに栗林公園を後にする。帰路のバスの中で二宮会長から安徳、名越両名に「歩こう会」活動貢献に対する表彰状を送ると発表され、と同時に参加回数の多いゲスト参加者の謝、角田両名も表彰された。

(補助椅子も一杯のバス)

「うずしお」が観られるかもと、道の駅「うずしお」に寄ったが果たせず。しかし大鳴門橋に沈む夕日が見事だった。ここで記念撮影の後、神戸に向かう。途中明石姫路方面へ向かう安徳、矢野の二人は舞子で途中下車、三宮帰着は午後６時過ぎ。前原さん長時間運転御苦労さまでした。

損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4－1－302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

初日の出と初詣
兵庫支部の発展を祈願して

毎年元旦は初日の出を拝み、初詣に出かけるのが、「歩こう会」の恒例の行事である。昨年に引き続き、今年も諏訪山公園ヴィーナスブリッジで御来迎を待ち生田神社へ初詣することにした。

午前６時ＪＲ元町駅西口北側で「おめでとうございます」と挨拶を交わし、兵庫県庁横を通り抜けて、急坂をゆっくりと上り、諏訪神社に先ずお参り。今年もよろしくと挨拶して、神社横の坂道を上るとヴィーナスブリッジに到着する。

（今年もよろしく乾杯！）

日の出は７時０６分の予定だが東の空には雲が山脈模様にかかっており、今年も雲の上に現れる日の出を待つ事になり、日の出時間も２～３０分は遅れるだろうと予想する。

石垣を風防にして持参の携帯コンロで、熱燗を酌み交わしながら待機する。

橋の上は御来迎を待つ人々で一杯になり、我々の傍を通り抜けて上の公園に向かう人達は横目で飲んでる我々を、羨ましいと、あるいはこんな所でと思ってか、ちらりと見て通る。７時２５分２本の線を引いた様な雲の間にちらりと顔を覗かせ、５分後に一番上まで昇ってきた。シャッターを押し、兵庫支部発展を祈る。

（錠前が鈴なりにかけられ）

上の公園には、かって橋の手摺に掛けられていたいた錠前が禁止され、ドーム型のアーチが用意され、幸せを願うカップルたちが掛けた錠前が鈴なりである。これらは間もなく取り外されハート形のプレートに成形し設置されるそうだ。

（毎日登山会の茶店にて）

謝さんの提案でコーヒーを飲みに行こうと公園から少しドライブウェイを上り、脇道の山道を下ると謝さん所属の毎日登山会の茶店に着いた。

ここでおでんやお酒で体を温めて山を下りる。

約１時間半歩いて生田神社に初詣に向かう。かなりの人出だが、本殿までスムーズにたどり着く事が出来る。午後になるとそうはいかないだろう

生田神社参拝後謝さんのお宅へお邪魔して、美味しい紹興酒と謝さん手作りの御馳走をいただいた。

ありがとうございました。

兵庫支部月例会12月「三金会」
高尾巖さんが久々に出席

１２月１８日（金）午後６時から「本館牡丹園」で「三金会」１２月例会が開催された。

出席者は、大村支部長、高尾、平間、二宮及び名越の５名だった。

（左から、大村支部長、 平間、 高尾）

平成２０年２月例会に出席以来御無沙汰の高尾巖氏が２２カ月ぶりにひょっこりと顔を出されびっくりする。１か月前くらいだったか、心臓手術で入院し無事退院されたとの情報あり、お見舞いの電話をすると同時に、購読を中止されていた兵庫支部ＮＥＷＳのバックナンバーを数カ月分お見舞い代りに送付していたのだが、それを見て、三金会会場が変わったことを知り訪ねてみる気になったそうだ。

今はすっかり元気になられて、三金会の後、快気祝いで、高尾氏のかっての古戦場であるカラオケスナック「こにし」に出かけてカラオケを楽しんだ。

タイガーは　千米往って　直ぐ還る

バロオンドール　メッシ奉公　初受賞

全米の　Yes、ウイーcan　初優勝

ハイボール　ジュワーッと人気　お好きでしょう

ドル下落　ドバイショックで　狼狽売り

十二月四日投稿　思索亭

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内
本館牡丹園

神戸市中央区元町通１丁目１１－２０
電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020
ＪＲ元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩１

「三金会」
毎月第三金曜日午後6時～
会費:3, 500円(男性)
2, 000円(女性)

「囲碁の会」
毎月第三金曜日午後3時～
参加費:無料、ドリンク/500円

世界遺産熊野古道ウォーク

第9回稲葉根王子から清姫の墓まで　約10km

１２月２日（水）好天に恵まれて、いつもの通り、名谷駅午前７時出発、谷上駅前、神戸駅前と集客して湾岸道路から阪和道、湯浅御坊道路、阪和道を経由し出発地点の稲葉根王子前に到着したのは１０時半と比較的早く到着した。一行は２３名、本日の語り部さんは安江さん。声が大きく、分かり易い説明だ。

（語り部さんと参加者達）

出発地の稲葉根王子前から富田川で何度も何度も水垢離を行いながら進んだという。上皇や貴人、女院などが同行している陰陽師の指示で水垢離をして身を清めながら熊野宮を目指す、修業の旅で、物見遊山ではなかったのだと。

（水垢離場を示す立札

語り部さんの先導で富田川沿いに歩く。スーパーのある場所が後鳥羽上皇の仮御所があった所だとか、あのコンビニは道中最後の店であり１００キロ先までないとか。市ノ瀬橋を渡り左岸に出てあぜ道を入ってゆき「一ノ瀬王子」跡に着いた。身を清める為に、最初に渡るのがこの一ノ瀬だと説明されている。

（一ノ瀬王子）

再び橋を渡り右岸に出て、暫く行くと住宅街に入った。途中で「大塔村」の道標を見かけたが、今は平成の大合併で田辺市になっている。大塔郵便局角を右折して山道に入って行くと大塔宮護良親王の側近で、この地で最後を迎えた平賀三郎国綱の御墓があった。大塔宮から拝領した宝剣を御霊代として熊野剣宮として祀るに至り、今はこれから訪れる住吉神社に合祀されているとのこと。

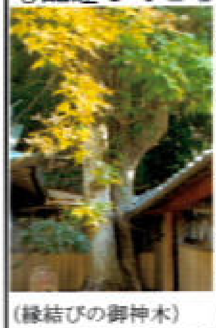
(平賀三郎国綱の墓)

お墓の場所から川岸に下りて行くと、「鮎川王子跡」がある。この鮎川王子社も現在は住吉神社に合祀されており、跡地を示す石碑が立っている。

（鮎川王子跡）

ここで鮎川新橋を渡り左岸に、そして昼食予定地の住吉神社へ。

神社前で弁当を配っている人は前回も配達してこられた元気のよい小母さん、今回も温かい味噌汁と蜜柑が配られた。住吉神社境内で昼食を取り、境内を見回すと、槇(ﾏｷ)と無患樹(ﾑｸﾛｼﾞｭ)が一本に合体している大木があり、縁結びの御神木として祀られていた。（左の写真）


（縁結びの御神木）

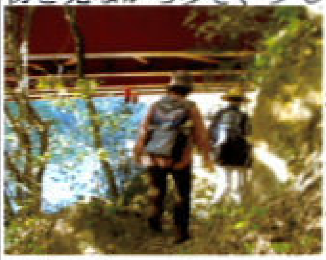
また合祀された鮎川王子社は本殿の左の方に、右の方には大塔宮剣神社が祀られていたのを確認した。

住吉神社から車道を暫く歩き、右手の細い登り道に入ると、後鳥羽上皇の仮御殿があったという「御所平」の立札がある。それによると後鳥羽上皇は1160年に最初の熊野御幸をし、1169年法皇となり1191年までに30回熊野御幸をされたとのこと。

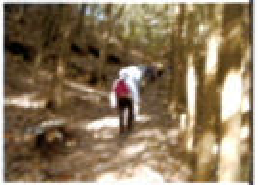
再び車道に戻り富田川沿いに歩き、橋のたもとに、藤原定家の歌碑がある。「そめし秋を　くれぬとたれか　いはた河　またなみこゆる　山姫のそて」

歌碑の前を通り過ぎそのまま進むとあぜ道に入り、古道らしい山道になってきた。富田川沿いに山道が続き、後白河法皇の頭痛を治す為祈祷したという「念仏淵」を通り、対岸に見える「道の駅ふるさとセンター大塔」の建物を見ながら歩き、少し下った所で国道の蕨尾橋の下を潜り（写真左）また登る。

（古道らしい山道を行く）

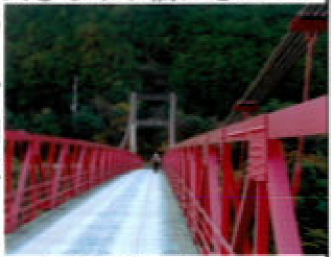


「オオウナギ棲息地域指定境界」という立札があり、オオウナギは熱帯性のウナギで富田川は北限の棲息地といわれ鮎川付近で1.7m、重さ28キロの大鰻が保護されたことがあるとのこと。この辺りから道は段々と険しくなってきて、ところどころにイノシシが掘り返した跡などがあり、語り部さんが山伏よろしく「六根清浄」と大声で唱え、それに合わせて「ざ～んげ、ざんげ」と唱和しながら登る。

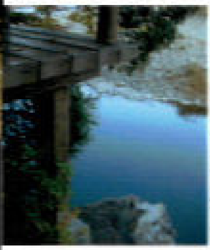

（六根清浄、懺悔、懺悔

「新旧二体庚申塔」やら「御日待供養塔」そして「得本上人碑」等を見て、左側の開けた向こうの山のふもとは清姫の生誕の里だと。（写真左）

緩やかな坂道を下りて、再び車道に出て暫く歩き「北郡橋」という大きな吊り橋にさしかかった。あまり揺れを感じないしっかりした吊り橋だった。


（吊り橋「北郡橋」）

そこから15分位で本日のゴール地点の「清姫の墓」に到着した。安珍・清姫物語の主人公「清姫」の出生地として知られ、ここから600m北方に清姫の父、庄司清重が清姫とともに住んでいた庄司屋敷が残っているそうだ。またこの川の淵で清姫が黒髪をなびかせながら泳いだと伝えられる「清姫淵」がある。


（清姫淵）

投　稿　大　歓　迎

皆様のご投稿を待っています
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広　告　大　歓　迎

掲載料：1／10頁、1回500円

お申し込みは6回分3，000円で御願いします